

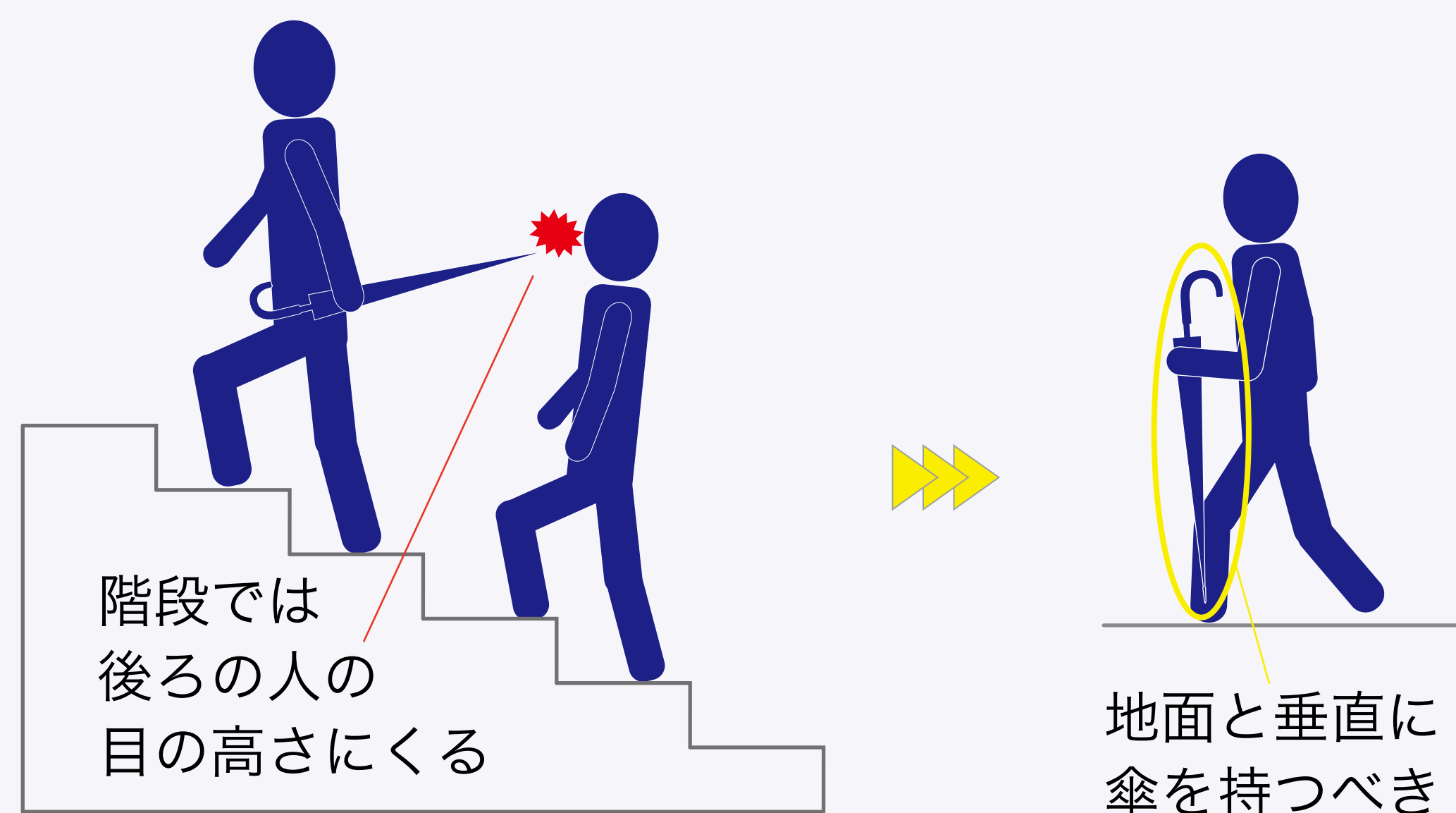
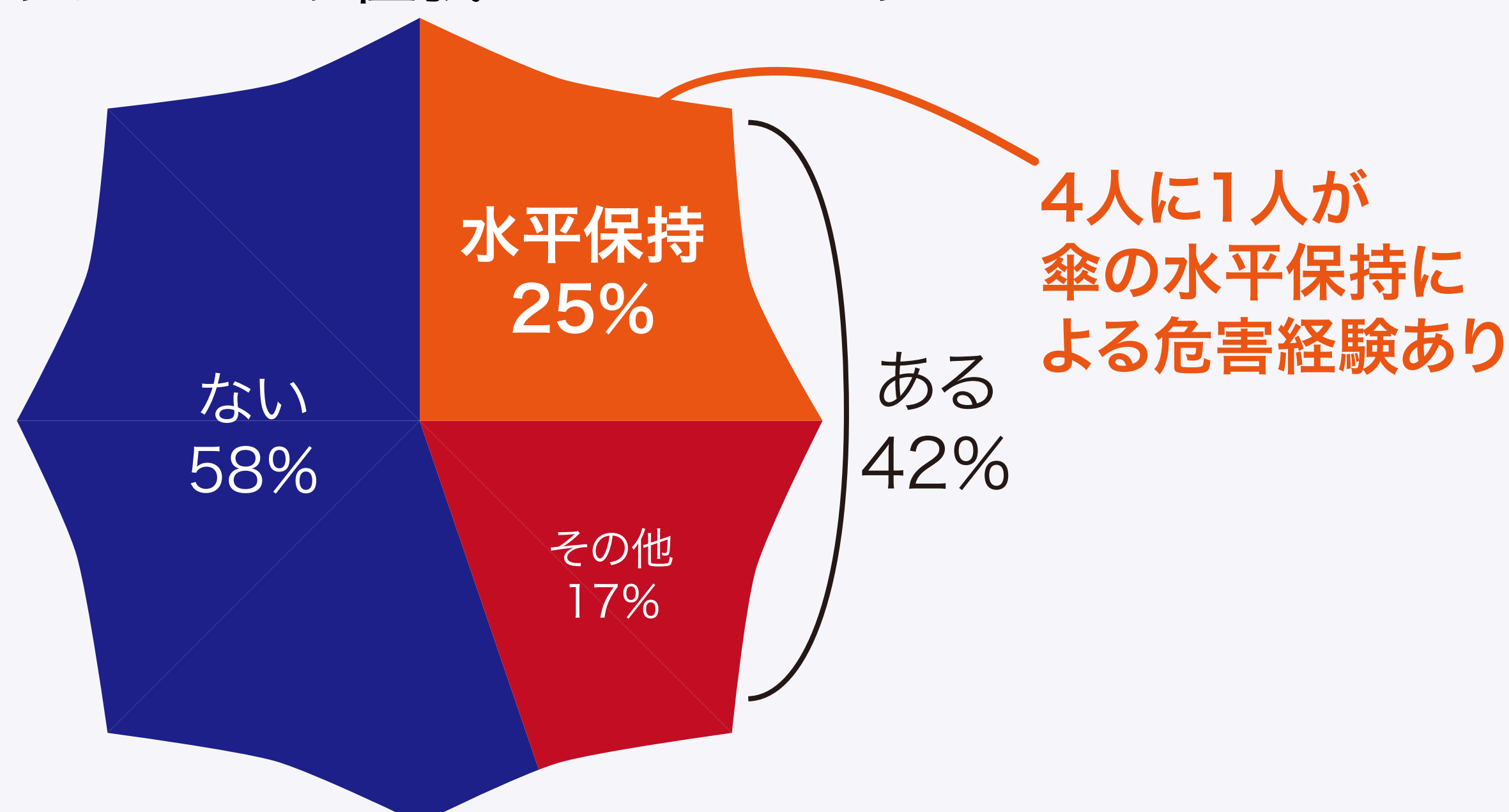
カサフラズ

傘の水平保持防止を目的とした音と振動による警告手法

ヒューマンインタフェース研究室
14622036 最上 聖也

背景と目的

Q. 傘をたたんだ状態にしていたときに
ヒヤリとしたり怪我をしたことはあるか？^[1]



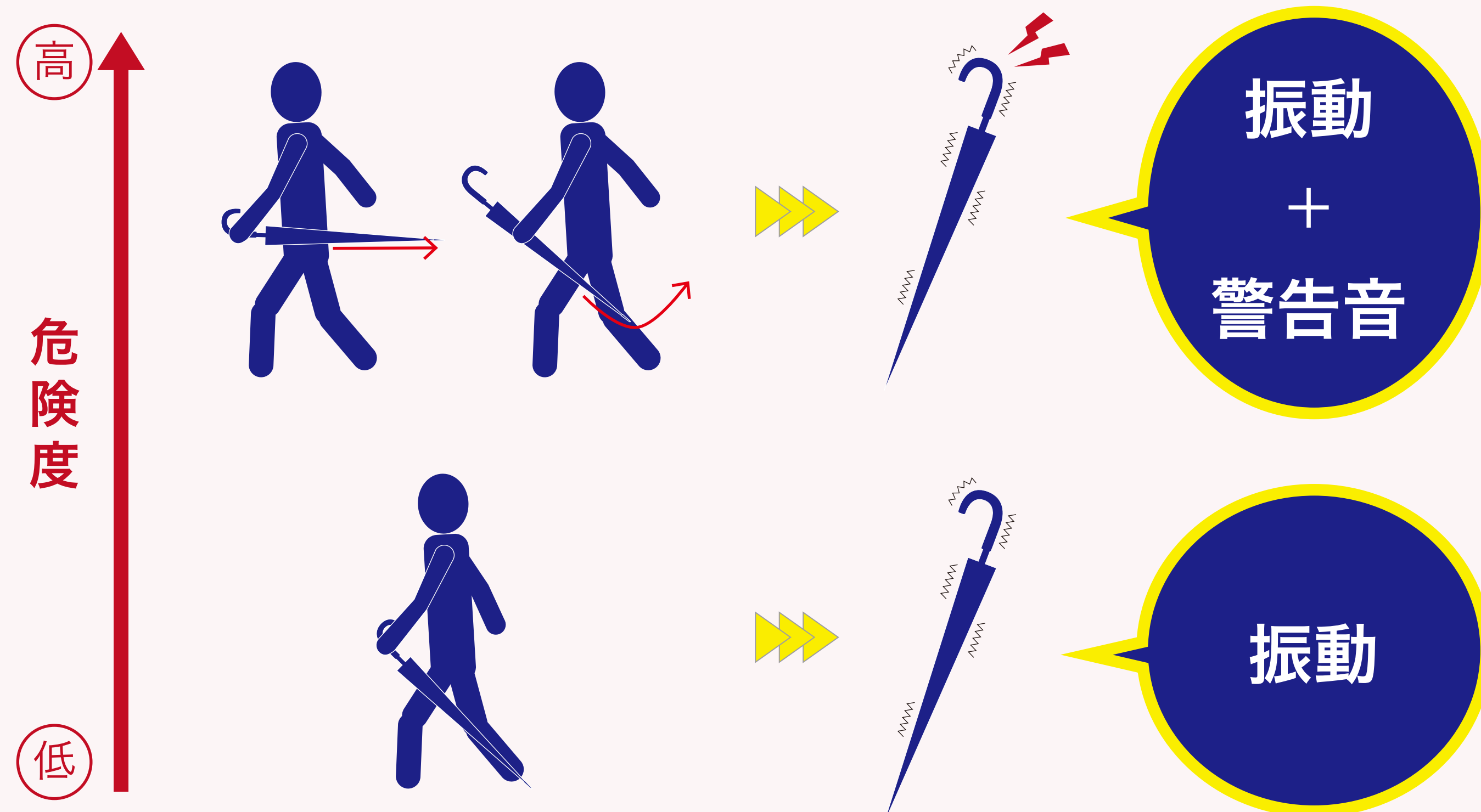
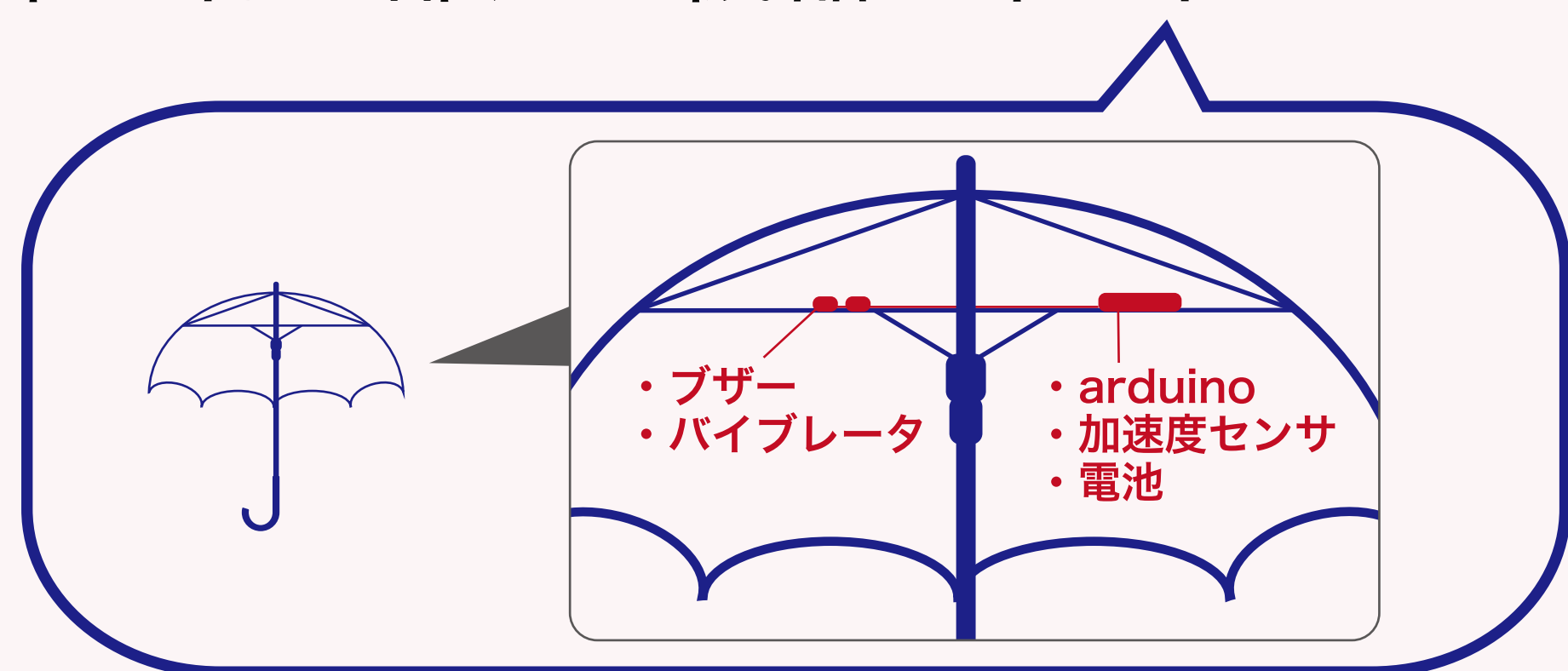
傘を水平に持って普通に手を降って歩いた時の衝撃^[2] = **30kg重**
⇒ 失明の可能性が十分にある

- 駅の階段で、水平持ちをしている人の後ろにいたら胸を突かれた(33歳 男性)
- 首を突かれたので文句を言ったが「だから何?」と言われたので被害届を提出した(34歳 男性)
- 傘の本体を握り、水平にして、かつ前後に振りながら歩く人がいて、突かれそうになった(37歳 男性)
- 後ろのことを意識しないで階段を登っている人に突き刺されそうになったが叩き落とすようにガードした(43歳 女性)
- 傘を水平をもってしかも腕を振って歩いており、子供の目線の高さなので怖い(52歳 女性)
- 満員電車にて、傘を水平に持っている人に胸を突かれ、肋骨にヒビが入った(52歳 女性)

傘の水平保持の防止

提案手法

- 危険度に応じた警告を利用者へ行う
- 加速度センサの値に応じて危険度を決定
- 傘の骨の部分に機器を取り付け



関連研究

- “ながらスマートフォン”抑止システムの開発
根岸匠ら, 2014, 情報処理学会
- そしゃく癖の改善を目的としたそしゃく状態通知
手法に関する研究, 吉田翔ら, 2014, 情報処理学会
⇒ 傘の水平保持防止は
迷惑行為に対する研究のうちの1つ

現状と計画

- 危険度の閾値決定のための加速度データを
収集中
- 2月中に実験を実施
- スマホとの連携機能の1つとして提供
⇒ 傘の取り忘れ通知, 取り間違い防止

[1]東京都生活文化局消費生活部「ヒヤリ・ハット調査、降雨時の身の回りの危険」、オンライン、2013、URL(<http://www.metro.tokyo.jp/INET/CHOUASA/2013/06/60n6c100.htm>)

[2]NHKオンライン「梅雨ドッキリ!傘の危険」、オンライン、2014、URL(<http://www.nhk.or.jp/okayama/program/kindaichi/20140627.html>)